臺灣日日新報 夕刊 昭和十二年七月十四日 水曜日 第一万三千四百號

全島民に警告
臺灣軍司令部發表

北支に於ける事態は既に一觸即發と言ふ緊迫しつつあり、臺灣軍司令部に於ても万一の場合を想定して万端の準備を整へつつあるが、十三日午前十時半臺灣島民に對して次の如き警告を發した

北支に於ける事態は益々重大化しつつあり、臺灣軍司令部は万端の準備に遺憾なきを期して居るが、最悪の場合を想定し臺灣の官民に次の如き希望をもつて居る

一、軍隊の移動に就いての情報は軍司令部より適時發表するが、此が為めに流言蜚語を放つ等の利敵行爲をなさざること

(二) 軍隊に提供し又は徴發する船舶や荷物の數量などを過大に宣傳しないこと

(三) 成るべくラヂオの受信機を整備して正確な戰報を聽取し且つこれを近隣に傳播すること

(四) 如何なる事態が突發しても決して動搖してはならぬこと、動搖すれば反つて損害を大きくすること

(五) 軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(六) 軍は非常事態に際しては之に則する非常の決心を取つて居る

(七) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(八) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(九) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(十) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(十一) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(十二) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(十三) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(十四) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(十五) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(十六) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(十七) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(十八) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(十九) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(二十) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(二十一) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(二十二) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(二十三) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(二十四) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(二十五) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(二十六) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(二十七) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(二十八) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(二十九) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(三十) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(三十一) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(三十二) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(三十三) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(三十四) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(三十五) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(三十六) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(三十七) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(三十八) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(三十九) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(四十) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(四十一) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(四十二) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(四十三) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(四十四) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(四十五) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(四十六) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(四十七) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(四十八) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(四十九) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(五十) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(五十一) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(五十二) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(五十三) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(五十四) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(五十五) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(五十六) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(五十七) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(五十八) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(五十九) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(六十) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(六十一) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(六十二) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(六十三) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(六十四) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(六十五) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(六十六) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(六十七) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(六十八) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(六十九) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(七十) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(七十一) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(七十二) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(七十三) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(七十四) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(七十五) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(七十六) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(七十七) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(七十八) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(七十九) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(八十) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(八十一) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(八十二) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(八十三) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(八十四) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(八十五) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(八十六) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(八十七) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(八十八) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(八十九) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(九十) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(九十一) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(九十二) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(九十三) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(九十四) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(九十五) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(九十六) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(九十七) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(九十八) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(九十九) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

(百) 軍は非常事態に際しては特に注意して欲しい、軍は總力を擧げて戰ひ得る態勢にあるから國民各自の防衛準備を整へて置くこと

五省の直系軍に
廣汎なる動員令
盧山軍事會議の結果

特使を北平へ
時局收拾に當らしむ

【上海十二日發同盟】日高參事官に依り正式に國民政府に齎らされたわが方の最後的態度と軍次長は直ちに于外交部長より盧山の廣介石の許に齎らされた、時は事態の重大化に鑑み直ちに張、張兩氏會見、軍政部長代理、軍政部次長陳誠、參謀次長熊斌、軍事委員會參謀廳長楊杰和參謀廳の幹部を招集して緊急會議を開催し北支事變の擴大に對する對策を協議した

【南京十二日發同盟】帝國政府の重大決意を表示された國民政府當局は急々善後の重大性を痛感し國山に在る蔣介石氏は十二日夜江西より急遽南京に飛來、軍政部次長陳誠、參謀次長熊斌、軍事委員會參謀廳長楊杰和參謀廳の幹部を招集して緊急會議を開催し北支事變の擴大に對する對策を協議した、時は事態の重大化に鑑み直ちに張、張兩氏會見

北平の邦人數名 命からがら脫出

支那兵は全く無統制 平和解決は全く絶望

【天津十二日發同盟】北平の狀態は漸次惡化しつつあり、居留邦人の危險は愈々迫り十一日夜から十二日朝にかけて邦人數名は北平を脫出し天津に到着した途中平綏線に出て城外を遠廻りして豐臺に向ふや支那保安隊並に第二十九軍兵士のため或は毆打され或は通行を阻止又は暴行され豐臺に辿り着くまで全く命からがらの狀態であつた、支那側が平和解決を約諾しながらその首腦部の命令は何等下級部に徹底せず最早平和的手段をもつてしては現狀の打開は困難となつて來た

天津にも抗日團蠢動

【天津十二日發同盟】共產黨、國民黨、南城大學以下の學生團體等各抗日團體は俄然活潑なる活動を開始し連日連夜なる抗日講演が行はれてゐるが天津における排日團體中最も危險なる抗日團體は十二日市內外一帶に左の如き檄文其他で出來間際の荷物に紛れて船內に潛り込み平氣な顏でボーイの運ぶ食事を頂戴して濟してゐた所を多數の警官に發見されたもので、これらが本人は平氣の平左で水上警察署、關各教士指導 八時迄)
◇柔道 中等學校部(午前九時より十一時迄)
矢口、河上各教士指導
◇劍道 中等學校部(同)
金井、松川教士指導

境界線を特別警戒

【天津十二日發同盟】北支事務勃發に伴ふ人心の動搖を慮として駐屯軍並に共產黨の活動は愈々活潑となり效々として駐屯軍と協力し天津支那街各方面殊に日本租界竝に境地區において盛んに抗日團體の總動員をなし市內の警備に日支境界線において緊張を醸さんとしてゐるが十二日の朝の如きは我が警兵を狙撃せんとした事件もあり、午後九時より境界線の特別警戒を行つてゐる

避難民が殺到す

北平の人心極度に惡化

死物狂ひで停車場に

【北平十二日發同盟】郵便の繼續不能は一に我が要求を容れず依然として對支敵對行爲を繼續しつゝある支那側の責任なりと認むるが故に帝國は從來の方針に變更なきも北平市內においてもこの窮狀を打開し人心の安定を圖るの必要を認め十二日午前六時十五分頃、同九時半頃の二回に亘り會員に有志義勇團組織に關し北平を遁れて天津或は國外に避難せんとする

【北平十三日發同盟】郵便の繼續不能は一に我が要求を容れず依然として對支敵對行爲を繼續しつゝある支那側の責任なりと認むるが故に帝國は從來の方針に變更なきも北平市內においてもこの窮狀を打開し人心の安定を圖るの必要を認め十二日午前六時十五分頃、同九時半頃の二回に亘り會員に有志義勇團組織に關し北平を遁れて天津或は國外に避難せんとする

もの殿をとして相次ぎ十一日夜來北寧鐵路沿線各車站には避難の群衆殺到してゐるが北寧線は一日二回しか運轉してゐないので前門停車場には避難民が押かけ構內に押入らんとする避難民が死物狂ひで激しい光景を呈してゐる

北寧鐵路側の態度を注視してゐる同鐵路當局は日本側の自主的運轉を不法と認定、至急列車の不法破壞ばかりしてゐるが我方としては斯かる惡漢は手加減ない、元來日本側は北寧鐵路の保護に基き交通秩序の維持の責任あり、これが完全を期することは當然の使命となし適切なる處置を講じてゐる

北寧鐵路は滿鐵が運轉

支那側不法侵害呼ばり

【天津十二日發同盟】今回の北寧鐵路沿線に於ける我が邦人の避難に關し支那側の責任如何に關かつて邦人の生命財産の安全を期すべく軍隊は從來の方針に變更なきも北寧鐵路は我が要求を容れず依然として對支敵對行爲を繼續しつゝある

主婦のための商品學

夏の敷物について

暑氣、家庭生活の合理化といふことがいろ〳〵と話題に上り、家庭の主婦のちようどした思ひつきから、今まで考へもつかなかつた生活の合理化が發見される次第――手輕にごく簡便に家庭生活の改善が出來るといふ實例、それを次に――

×

狹い我が家を改造して少しも利用出來なかつた廊下をサンルームにするとか、窓に硝子を張り、壁紙を窓にからませるとか、さまざまの樂しい工夫が行はれてまゐりました

×

そこで、廊下をサンルームに改造した場合に、日本人の生活を飾る谷次や屏風にも調和のとれるやうな敷物がほしくなります。

從來の敷物では感覺を求めるにはちよつと無理がありました。それが最近では岡山縣同業組合といふ頗る近代的な團體を作へたものも作られるやうになりました。但し値段が少々高く、一疊敷花模様で十五円位、無地で十四円位といふあんばいですから、大衆向といふことまでは行つて居ません。そこで敷物であつて、感覺たつぷりといふ敷物が新規に登場して來ました。それは花莚畳です

×

花莚畳はこれまで模様のない無地物だけでありましたが、いつの頃からか絵一枚の大さの中に七円の花を二つ大きく織出すことが始まりました、これが花莚畳の起りで、その後、無地の花以外に、人物、風景その他さまざまの模様を織り込むやうになつても花莚畳の名がつけられてゐるわけですが、最近では、殊に色調感覺が溫調されて、フイリツピンあたりへ輸出される原色の模様ものが市販されて來ました。しかし、やはり國内向の花莚畳としては、他の敷物の調和同様に、主體寒色系のものが多く、單調な模様の内に多角的感覺をもつた模様が歡迎されて居るやうです

×

絵に感覺は違つてのものの色調が感覺であるだけに、これにマツチする感覺から、花莚畳も暗色のものより、二、三の原色を用ひたものが多く市場に出廻つて居る有様です、感覺といふことについては他の敷物にひけをとりませんが永年使用するといふことになると多少の點がないでもありません、そのため値段がなつと安く、一疊一円七十錢位から三円疊です

×

大體を利用して編る被覆な感覺になつて來てゐる點から、花莚畳にふさはしい部屋の寒暖系――想像してさへうれしい感じの部屋と申すことが出來ませう

舌で病氣診斷

舌苔は內臟の故障

舌の變化が病氣を診斷する上に重要な價値のあることは一般醫師の診察を受けた方は皆ん知存知な訳です。

健康な舌は紅色に少し紫色を帶び表面は薄い淡白色で潤澤になるほど紅色を增し常に濕潤して居ます。又運動が自由で舌を外へ出してでも苦へるやうなことはありません。それ等の點に變化があれば病氣があるのです。

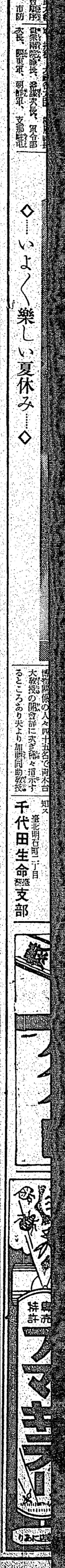
舌の運動が不自由で言葉が不明瞭となり又咀嚼するやうなことがあれば神經の異常を思はねばなりません。又舌に灰白色黒褐色の厚い舌が現はれた時は內臟に何か故障の起つた證據です。特にその舌苔が灰白色で舌全面を覆ひ舌の裏に行くほど厚くなつてゐる時は急性の胃カタルか腸カタルである場合が多く、胃酸過多、胃潰瘍、大腸カタル等では舌苔のない場合が多いのでその點則が出來ます。

胃癌や肝臟癌では舌苔は餘り厚く覆ひませんが表面が非常に乾燥して來ます。

チフス等の急性傳染病では發病初期は灰白色或は褐色の乾燥した舌苔に覆はれ次で舌の先端部と周邊の舌苔が乾燥して紅色部が現はれて來ます。腸膜の二期などでは舌に白斑が出來て多少厚くなつてくることがあります。

兎に角舌に新しい異狀のあつた場合は速かに醫師の診斷を請ふ事が必要です。

◇……いよ〳〵樂しい夏休み……◇



曉星雙葉紙 (125)

田中貢太郎作
河野通勢畫

(一)

狼

財布はお館の前へどかりと落ちた。

「だから是非貰れたかと申してるではないか、捕者は殿下の松下だと」

お館に額の筋を見せてゐた。

「松下様でござりまするな、松下様の名を騙つた悪人でござりまする」

「さては、昨夜遅くまでとち狂つて男を誘れたものと見える」前の金の金を執つて、酒を注いで、「すくでは眠びだせないだらうから、酒でも飲んでゆつくりしてゐるやうか」

主税は一日飲んでお館を見た。

「まだ、捕者が思ひ出せないのか」

お館は笑顔をしなかつた。主税はお館の前へどかりと坐つた。

「だから是非貰れたかと申してるではないか、捕者は殿下の松下だと」

お館に額の筋を見せてゐた。

「松下様でござりまするな、松下様の名を騙つた悪人でござりまする」

「さては、昨夜遅くまでとち狂つて男を誘れたものと見える」前の金の金を執つて、酒を注いで、「すくでは眠びだせないだらうから、酒でも飲んでゆつくりしてゐるやうか」

主税は一日飲んでお館を見た。

「まだ、捕者が思ひ出せないのか」

お館は笑顔をしなかつた。主税は

(一)の座談ブンヤキ土紙

(二)

お館は知らない男に呼れくしく声をかけられて眼を卵つた。お館は返事をしなかつた。主税は笑やりとした。

「捕者を見忘れられたか、お館殿昨日も夕方から飲んで、それから出歩いて、た捕者を見忘れられたか」

お館は額顔さうに主税を見たが、何も云はなかつた。

「我何物かれの名んでも捕者を誘わうとは、何ないでではないか、おい、お館殿、捕者は松下だよ、殿下の松下だよ、まだ思ひ出されないのか」

お館は自分と松下の関係のある事を卵つて、自分を誘きだし「動じしようとしてゐる間諜と云

四郎兵衛殿は、世をはかなんで、すんでの所に魚の餌食になれようとした、お館殿、貴はそれを知つてゐるまるか」

お館は怪訝をちつと見なほした「捕方様には、何方様でござりまするか」

「醜Rの絵手と云つてるではないか、捕者にがどうかしてゐるまるか、それとも盗賊か、お館殿うとしたか、知つてゐるまるか」

「何もしないたしませぬ、四郎兵衛は牝にをりました」

「るない、るなかつた、貴方は知らぬ」

「知つてをります、わたくしは高槻藩の家内でござります、家の事は何でも知つてをります」

「知らない、知らぬ、だから貴方はだめだ」

「だめでもよろしうござりまする」

「女子のふてくされによろしくない、お館殿、まあ、一ぱいあがようではないか」

主税が盃を持つた、お館はついと起つて逃げようとした。主税は飛びかかつてお館を引き抱えた。

「おつと逃がしてたまるものか」

「あゝる」

「騒いでもだめだ、四郎兵衛殿に代つて折檻に来る捕者だ」

「あれ」

「声をたてると、耳の上の穴だ」

「あゝ」

「捕者の折檻はこれだ」

間もなく主税は盃を置いて悠然として次の室へ往つた。次の室には四郎兵衛が盃を脱かしたやうにしてつくばつてゐた。

「御躰、憂によつて赤恥をかかし申した」

四郎兵衛殿は、世をはかなんで、すんでの所に魚の餌食になれようとした、お館殿、貴はそれを知つてゐるまるか」

お館は怪訝をちつと見なほした「捕方様には、何方様でござりまするか」

「醜Rの絵手と云つてるではないか、捕者にがどうかしてゐるまるか、それとも盗賊か、お館殿うとしたか、知つてゐるまるか」

「何もしないたしませぬ、四郎兵衛は牝にをりました」

住き場所の選擇とキャンプの一般方法

愛嬌な百貨的梅雨の不連続線が適か北方に去つて爽快な天候が回復し、毎日早後雷雨を見す百貨特有の夏期陣線となり隨て暑空に聞く太陽から強烈に照りつける男性的直射に催易して海に山に涼れん人々の多くなる秋であらう殊に各学校の夏休みとなり若人達の一張のキャンプを担つて出掛ける時季が来た、百聞でもこの組向は年と共に盛んになるにつけキャンピングについて

てゆしばかりお話して見よう

一體吾々は何を好んで態々キャンピングをやるのかと云ふ疑問に起る。それは私達の都會に於ける生活の慣習に束縛されて居る人間が偶々休暇を得れば大自然の懐に抱かれて何物にも拘束されず獨立自由の天地を求め様とするのは當然である。

この原始に還る意義を理解に充たすのがキャンピングである。特別の練習も何も必要でない。日常の家庭生活を山の上、海の辺りに、或は森のなかに、随処に家を作り生を営めばよいのである。都會の繁榮を捨て、遠く離れてキャンピングすることは最も大きな決断を要するであらう。山は緑に、夜の月は輝かである。一服のテントを水のほとりの森蔭に張つて親友の二三と談笑しつつ一夜二夜と眺かな憩涼の夢を結ける時眞に生の歓喜を味ふことが出来るであらう。

それには先づ住きキャンプ地を選ぶことが大切である。台北附近にあつては先般官庁で発表された「台日ハイキングコース」の中に示された圓天耶、大崙峠、基隆水源地、碧山の河原、富貴角などが最も優れてゐるであらうが、其他滞水浴場或や綠を垂れる河川の辺りなど想像に多い。然し何と言つても一万級の山岳地帯のキャンプの様なことは出来ない。深い興味を脳裡に焼きつけられる程に歓喜なものである。

今キャンプ地選定の主なる條件を挙げて見ると

(A)清潔な飲料水
(B)風光明眉の処地
(C)蚊蝿、洪水の恨れなき場所
(D)客塵及び汚物
(E)暗黒な部落を避け静かな場所
(F)飲料水のある場所
(G)新鮮の手に入る所
(H)其の場所の都合を通ずること

キャンプの方法についてはその場所、時期、月例によつて違ふが普通次例に述べる様な順序方法としては

一、日没二時間前には必ずその目的地に到着すること
二、多人数の時は設営班、炊事班、配給班等の様に仕事を分担すること
三、明るいうちに周辺に清潔なる水源を探し飲料をなすこと
四、天幕を張り周囲に排水溝を掘つて雨水に備へる
五、天幕内に寝具、木枝等を並べその上にグランドシートを敷きて寝床をつくること

六、一定の場所に穴を掘つて便所とし立ち去る時は埋めること
七、荷物は天幕内の周囲及隅にならべて整理しリックサックを枕とすること
八、飲取綿糸を焚くこと
九、スリーピングバグに入るか又は毛布を持つて野に就くこと
十、炊爪の後始末を充分に注意すること
二、朝は早く起いて顔の洗生を防ぐこと
三、出立に際し消滅し紙屑、缶等不用なものは焼き捨て又は穴を掘つて埋めること
四、その附近に新たに水場、魚場、薪の採取地等を発見したら時は簡単に指導書を作つて次の宿泊者に便宜を與ふること

メガホン塔

▲台北自動車商組合上一郎一度の慰労会を復活して下さい(原員代表)▲車の喇叭を鳴めず悪口を言ふのをやめて下さい(器町生)▲台機半任と慰安会をやらぬのなら懇話会費の徴收をやめよ(物価騰貴生)▲七月六日稿内で婦人待の財布を拾ひ保管してゐます(千城町市場)▲公学校生徒以上を国語講習所に強制的に入れるのは市等学校入試の準備教育の禁止違反ではないか(一名)▲六月後整理習所廻にて伺して下さいました鉄道員諸君へ(若干町生)▲車掌と運転手間の意思疎通を図る為め定期的に懇話会を開いて下さい(若干町生)▲台北自動車商組合上一郎一度の慰労会を復活して下さい(原員代表)▲車の喇叭を鳴めず悪口を言ふのをやめて下さい(器町生)▲七月六日稿内で婦人待の財布を拾ひ保管してゐます(千城町市場)▲公学校生徒以上を国語講習所に強制的に入れるのは市等学校入試の準備教育の禁止違反ではないか(一名)▲六月後整理習所廻にて伺して下さいました鉄道員諸君へ(若干町生)▲車掌と運転手間の意思疎通を図る為め定期的に懇話会を開いて下さい(若干町生)▲台機半任と慰安会をやらぬのなら懇話会費の徴收をやめよ(物価騰貴

（一）　昭和十二年七月十四日　臺灣日日新報　第一万三千四百号　（水曜日）

臺灣日日新報

（原灣記錄）（明治一ノ五ノ九月第三種郵便物認可）昭和十二年七月十四日

本日夕刊共二十頁

編輯兼發行人　佐々木雋

臺北市表町一丁目一番地　電話（一）〇八五番　振替臺北一〇八五番　社報新日日新報　明治三十一年創刊

一〇〇點全甲の好成績にしたい方は！　暑休にメキメキ賢い子にしたい方は！

小學館の大學習雜誌

をゼヒお與へ下さい！！

本誌獨特の學習室は……

教育大家・各高師教授・訓導二十有餘先生の分擔執筆で解りよく覺え易く面白く讀むうちに優等生になれる

東京高等師範學校主事　佐々木秀一先生

小學館の雜誌は學年別で對象に與へられる

呼物の大讀物は……

文壇大家の讀物或は科學歷史・大臣物語等々讀んで血となり肉となる

東京高等師範學校教授　木下竹次先生

發明、發見、學習的で愉快に組立、或は使用する間にグングン實力がつく、毎月數々添附

奈良女子高等師範學校教授　木下竹次先生

附錄の一つ一つにさえよく吟味され權威ある先生方が懇切に校立ちやうに解説されるので安心してお讀めます。

評判の大附錄は……

此の素晴しい八月特大號!!

只今全國書店で發賣中

買ひ損なったら大變です。お子樣の爲に今スグ本屋へ

八月特大號

抑揚記號つき　正しい英語會話

最新刊（來る廿日發賣）

英語會話のラヂオ放送でお馴染の堀先生がこの度誰にも適く役立つ英語會話を書きされました。貴に本書こそ外人と英語で話したい人々の一大寶典です。

英語會話のラヂオ放送でお馴染の堀先生が、世間に有ふれた會話力の少しもつかぬ書と違ひます。

オリムピック!!　何をおいても吾ら主催國民は日本の名譽の爲に英語會話を學ばねばなりません。英語會話の生命は抑揚です。從つて抑揚記號のない在來の本では先生が特に抑揚記號をボーンビイ先生に專任御擔當を願つて苦心考案の末出來上つたのが本書です。

（内容）（一）英會話の基礎：初學者の爲め發音・抑揚の實際をあらゆる角度から詳しく說明。（二）英會話の習慣の相違から起る言葉の相違を易く且つユーモラスに述べ會話で特に大切な「態度」が會得出來る。（三）實際會話：天氣・食事・旅行・道案内・買物・娯樂・週末・每日の生活で出來ない樣選ばれたもの。（四）平易な問答：A・Bが質問すれば卽座にBが答へると言つた平易な、敎室用にも必要で、やさしい言葉が無意識に出るやうにする會話の基礎練習に出くわすあらゆる題材を（附錄）英語と米語の相違　英國の俚語熟語　英國紳士のスマートな會話　英國の會話獨特な排列法　英國の會話獨特な排列法　英國の會話獨特な排列法

支那は持久戦
對日作戦計畫決定

【北平十三日發同盟】蔣介石の對日作戰計畫としては左の通りと傳へらるゝ

一、河北には國軍第二線に退き黄河を挟んで持久戰に入り一方便衣隊に依るゲリラ戰法に依り頻繁に後方攪亂をなし平野で日本軍と一大決戰を交へる、保定の線を突破される場合には日本軍をして奔命に疲れしめ逸をもつて勞を待つの作戰に出ると決定した

【南京十三日發同盟】對日交戰を決意した蔣介石は滬戰に第二期戰線として逐次黄河の南岸に退き黄河を挟んで持久戰に入り一方便衣隊に依るゲリラ戰法に依り頻繁に後方攪亂をなし平野で日本軍と一大決戰を交へる、保定の線を突破される場合には日本軍をして奔命に疲れしめ逸をもつて勞を待つの作戰に出ると決定した

【南京十三日發同盟】蔣介石の對日作戰計畫としては左の通りと傳へらるゝ

一、日本の支那大陸進出に對して北方は渤海線、東方は海岸線をもつて防衛第一線として死守すること

二、中央軍は主として隴海沿線に集結させて機動部隊の實兵に當らしめること

三、空軍の作戰中心は必要に應じ杭州より洛陽に移すこと

作戰本據を洛陽に置く

【南京十三日發同盟】蔣介石の對日作戰計畫は左の如し

一、本島防衛の爲め、官民一同何時大命が下るも差支へなきよう今から万般の準備を完了整備しておくことが肝要なり

二、軍隊の實任が帝國にあるかの如き流言無稽なる惡宣傳が行はれて居るが、之は支那側の常套手段であり、從つて彼と一衣帶水の本島にありては此の種惡宣傳に特に注意すること必要なり

三、軍隊としては最惡の事態に處すべき非常の決意と諸種の準備は完全に整備し居れり、荒唐無稽なる巷説により流言を放ち、輕擧盲動の場合は斷乎として之に臨む決意あり、殊に非國家的言動に對して鋭い注意を向けつつあり

四、軍隊としては最惡の事態に處すべき非常の決意と諸種の準備は完全に整備し居れり、荒唐無稽なる巷説により流言を放ち、輕擧盲動の場合は斷乎として之に臨む決意あり、殊に非國家的言動に對して鋭い注意を向けつつあり

五、軍隊は新聞其他を通じ正確なる情報の發表に注意す、發表なき際は大局に變化なきものと思惟され度し

六、本島全般に亙り飲食物其他一般に細心の注意ありたし

兩軍又もや衝突
銃砲聲北平まで聞ゆ

【天津十三日發同盟】北平城内に於ける空氣愈〻惡化と併行して廣安門其他鐵道線一帶の支那軍は戰鬪行爲停止のわが要求にも拘らず不法にも機關銃を以てわが軍に對し挑戰行爲を續けてゐる、而も滄治安は戰鬪司令官の職を他所に移すこと數回に及び軍隊の警備を怠いでゐると云はれる

【北平十三日發同盟】十三日午前十一時三十分頃南方より銃聲數發聞えたるも其後は靜穩を保つてゐる

【上海十三日發同盟】十三日午後一時支那側の報道によれば豐台から第一線に向はんとした日本軍を支那兵が阻止した旨により廣安門其他に於て衝突したものである

馬村で支那軍挑戰

【天津十三日發同盟】十三日午後三時三十分支那駐屯司令部發表

本日午前十一時頃馬村（北平南方一キロ）をわが軍の小部隊が自動車にて通過中突如支那側部隊より小銃、機關銃の射撃を受け、我軍は直ちにこれに應戰撃退す、わが方に戰死三名支那側には相當の死傷者ある見込み

南苑附近で小衝突

【北平十三日發同盟】豐台よりの確報によれば〇〇より前線に向ひつゝあつたわが軍の一部隊は十三日午前十時頃南苑大紅門附近で張自忠の第三十八師の兵と約一時間に小衝突を起したと、その後の報告については未だ確報はない

裝甲車中隊は長辛店着
今暁豐台出動に備へ

【北平十三日發同盟】北上命令に接した方顧部隊の前衛部隊は既に十二日夜長辛店に到着、其主力は豫州に集結中である、次で豫州及び附近にあつた裝甲車及び戰車の一部も十三日朝來行動を開始し北上しつゝある模様である

宋哲元、決戰を決意
學良、出動を電請

【天津十三日發同盟】支那側の情報によれば宋哲元は遂に日本軍と一戰を交へる決意を固め十二日部下軍隊に動員令を發したと言はれる、尚張學良以下旧東北軍將領は十三日代電戰を以て宋に對し最後の態度を決すべく迫り居るが、宋は斷乎抗戰の意向を表明したと傳へられる

閣議申合せ
貿易局長官は寺尾進氏

【東京十三日發】商工省の貿易局長官は寺尾進氏に決定した

農林省議
農村對策協議

【東京十三日發】農林省では十三日午後二時三十分より會議室に於て農村對策協議會を開催する筈なるが、之は今回の豪雨で決定した對日作戰計畫に基き北支經營が愈〻具體化するに伴ひ北支那方面に於ける農業開發の問題に關し農林省として考慮すべき點を研究するためである

山西軍に集結要求

【南京十三日發同盟】國民政府軍事委員會は十二日夜閻錫山、傅作義に對し山西軍を率ゐ直ちに平綏沿線に集結し戰時體制を完了せんことを要求した

支那の借款交渉は全く中絶

【上海十二日發本社特電】財政部長孔祥熙氏の來滬に於ける借款交渉は北支那經營の勃發によつて一大轉機に逢着したが軍部當局は之に對し斷然として應ぜず、從つて日本側の借款申込は全く中絶の止むなきに至り來る廿日の計畫は茲に一擱挫を來し政府の經濟建設計畫にも重大なる支障を與ふるものと見られてゐる

緊張する華北
王、何兩部長歸還す

【南京十三日發同盟】北支の時局緊迫とともに王龍惠外交部長、何應欽軍政部長は急遽南京に歸來して善後策を講ずる筈で今や南京は北支時局の中心となつた、兩氏は十三日夜南京着の特別機で歸京したが、兩氏歸京後直ちに軍事外交兩當局者會同の上時局對策を協議する筈である

【南京十三日發同盟】國民政府は十三日中央より山東を視察すべしとの電命を受けたその結果直ちに第一下關條約を召集し臨時緊急會議を開催することゝなつた

濟南にトーチカ
山東の防禦工作

【濟南十三日發同盟】國民軍は十三日中央外及び膠州灣租借地に築城工事を開始した

關東州に防空命令
情勢逼迫して

【大連十三日發】北支の情勢逼迫と共に關東州は支那側攻撃地に最も近く、從來の危險に曝される

地方長官會議は一日限りとす
各長官は即刻歸任

【東京十三日發】北支事變に直面し擧國一致の陣容をもつて帝國の斷固不動の方針を地方に徹底するため十五日午前十時より臨時に決定した地方長官會議は十五日の一日限りとし政府の方針を徹底した地方長官は即刻赴任し非常時局に處する擧國一致の强化徹底を期することゝなつた

支那の空軍動く

【南京十三日發同盟】蔣介石は來る廿五日の國民大會に於て今次事變の重大性に鑑み國内、樞山、米内、賀屋、吉野各相よりも各般の情勢に關し報告あつた後の施策の如きを申合せを爲しわが方の態度方針を糺し持久戰を決意した

申合せ　先般の閣議で決定した方針を固く堅持しながら万般の準備なき用意の下に軍能の外なく「我人も吾が弟にして居れなくなつた」といふのが當今の政治が打破された旗は大きな特色であり、從來の基礎的政策は新らしく漸く醸成されつゝある。

支那、兵役法を全國に即時實施

【南京十三日發本社特電】軍政、内政兩部は蔣介石の命により至急兵役法の全國即時實施に決し各省政府に左記事項の各縣市當局に關する指令を發した、その内容左の如し

一、各省各縣市當局は速かに自衛團體を整備し地方の防衛を强固にすべし

二、軍事訓練ある者を指定し兵役義務を有する者を訓練すべし

三、地方長官會議、村長等に關係を徹底行し兵役法の各法規に亙り熟知する義務を負はす

南朝鮮總督が半島の協力へ

【京城十三日發】時局重大に際し官民擧げて協力を期すべしとの總督の聲明は遂に日本軍と一戰を交へる決意を固め十二日部下軍隊に動員令を發したと言はれる、尚張學良以下旧東北軍將領は十三日代電戰を以て宋に對し最後の態度を決すべく迫り居るが、宋は斷乎抗戰の意向を表明したと傳へられる

非國家的言動に鋭い注意を向く
秦參謀長が再警告

【南京十三日發同盟】十三日午後一時より國防最高會議が開かれ蔣委員長より左の如き重大訓示があつた

一、日本軍部の一部には國家の統制を無視し獨斷專行の風あり、之は國家の前途に對し憂慮すべきである

二、日本國内の輿論は擧國一致の下に政府の對支政策を支持すべきであるに拘らず、一部には之に反する言動あるは遺憾である

三、日本國内の輿論は擧國一致の下に政府の對支政策を支持すべきであるに拘らず、一部には之に反する言動あるは遺憾である

支那、兵力を集結
歸休兵續々原隊歸還

【南京十三日發同盟】蔣介石は十三日午後一時より軍事會議を開催し、何應欽軍政部長、白崇禧參謀次長、楊杰軍事委員會參謀次長、徐永昌軍政部次長、陳誠軍政部次長、錢大鈞軍政部次長、賀衷寒軍政部次長、劉斐軍政部次長、林蔚軍政部次長、曾養甫軍政部次長、俞飛鵬軍政部次長、周至柔軍政部次長、張治中上海市長、熊斌天津市長、秦德純北平市長、劉峙南京衛戍司令官、宋哲元第二十九軍軍長、商震第三十二軍軍長、劉湘第二十三軍軍長、龍雲雲南省主席、劉文輝西康省主席、何鍵湖南省主席、張學良東北軍將領、閻錫山、馮玉祥、韓復榘、徐向前、朱紹良、顧祝同、白崇禧、李宗仁、李品仙、黄紹竑、陳濟棠、余漢謀、張發奎、薛岳、吳奇偉、李漢魂、黄旭初、楊虎城、邵力子、張群、孔祥熙、宋子文、宋美齡、孫科、居正、戴傳賢、吳鐵城、陳果夫、陳立夫、陳布雷、朱家驊、葉楚傖、王寵惠、王正廷、張繼、馮煥章、李烈鈞、于右任、吳敬恒、馬超俊、覃振、丁惟汾、邵元冲、陳公博、褚民誼、梁鴻志、汪精衛、唐紹儀、唐生智、何成濬、何應欽、白崇禧、李宗仁、李品仙、黄紹竑、陳濟棠、余漢謀、張發奎、薛岳、吳奇偉、李漢魂、黄旭初、楊虎城、邵力子、張群、孔祥熙、宋子文、宋美齡、孫科、居正、戴傳賢、吳鐵城、陳果夫、陳立夫、陳布雷、朱家驊、葉楚傖、王寵惠、王正廷、張繼、馮煥章、李烈鈞、于右任、吳敬恒、馬超俊、覃振、丁惟汾、邵元冲、陳公博、褚民誼、梁鴻志、汪精衛、唐紹儀、唐生智、何成濬

人事

▲石黒純吉氏（佐世保海軍經理部長兼艦政本部出仕）深水少佐と共に十三日附より來社（日之丸館）十五日内地へ

▲加藤恵平氏（台湾総督府技師）十四日來台（台湾）

▲原敬氏（原内閣當時の内相）十四日午後九時十二分東京着

▲山本悌二郎氏（代議士）十四日來台（台湾）

▲原敬氏（原内閣當時の内相）十四日午後九時十二分東京着

▲石黒純吉氏（佐世保海軍經理部長兼艦政本部出仕）深水少佐と共に十三日附より來社（日之丸館）十五日内地へ

▲加藤恵平氏（台湾総督府技師）十四日來台（台湾）

▲山本悌二郎氏（代議士）十四日來台（台湾）

▲原敬氏（原内閣當時の内相）十四日午後九時十二分東京着

▲原敬氏（原内閣當時の内相）十四日午後九時十二分東京着

▲石黒純吉氏（佐世保海軍經理部長兼艦政本部出仕）深水少佐と共に十三日附より來社（日之丸館）十五日内地へ

▲加藤恵平氏（台湾総督府技師）十四日來台（台湾）

▲山本悌二郎氏（代議士）十四日來台（台湾）

▲原敬氏（原内閣當時の内相）十四日午後九時十二分東京着

▲原敬氏（原内閣當時の内相）十四日午後九時十二分東京着

▲石黒純吉氏（佐世保海軍經理部長兼艦政本部出仕）深水少佐と共に十三日附より來社（日之丸館）十五日内地へ

▲加藤恵平氏（台湾総督府技師）十四日來台（台湾）

▲山本悌二郎氏（代議士）十四日來台（台湾）

▲原敬氏（原内閣當時の内相）十四日午後九時十二分東京着

▲原敬氏（原内閣當時の内相）十四日午後九時十二分東京着

社員募集

有隣生命臺灣出所

暑中御見舞申上ます
菊正宗
本嘉納商店
藤田商店

宮内省御用達
暑中御見舞申上ます
菊正宗
本嘉納商店
藤田商店

内地へ御歸省御旅行の御方に
おみやげ
中元御贈答品は
是非東陽製品を……
落花生　青文旦　蜜餞
高級　新鮮　豚デンブ
ポンカン　蜜餞　味淋焼豚
芭蕉　餡蜜　各種
東陽物産商會
東陽製菓部
蜜餞元祖
東陽製菓部
支店　蕃産物

暑中御伺ひ
晝中休暇子供の遊び、健康保持法を助けてやる關心の表現
助けて持らひたい慈心の一消化は合家をして無我にて「献」して
弱夕雨無阿彌陀佛を誦ふべし
南無阿彌陀佛を誦ふれば此の世の利益はきわもなく滅後輪廻の
悪消へる朝夕二回十分間づつ誦ふべし
私し　日々の行事
合掌して手をうごかして佛の字を書くのよを打つて開いて手を二
度ならして四十八遍頭へ、ば阿彌陀佛は直に迄る祝福も出來る
支那事變出征軍人會員
善光寺別院内　松井猪兵衛
臺北本支店共御引立を伏して
お願じます

清酒
白鶴
台北近藤商會
台南會商藤近

醤良
ソース
羽車
代理店
越智商店

新營に建設決定の 鹽糖パルプ工場

操業は十四年七月から 花蓮港にも建設豫定

【東京十三日發本社特電】鹽業方面にパガスを以てするパルプ工場建設の為水質、水質、原料關係其他の條件調査に來台中の鹽務局技師渡邊勇山形登氏、同取締役草川重遠氏及技術者一名は新營、岸內方面と花蓮港方面に臨み實地踏査を終へ相當確信を得た模樣で技術者は後に殘り山形、草川兩氏は十二日午後臺東の途に就いたがパルプ企業に就き兩氏は交々次の如く語つた

パルプに 仕上げて少くも二万二千噸を下らぬ見込である

パルプ工場は取敢ず三万噸位で發足し將來二万噸まで能力を擴張し得るだけの餘裕をなし將來四万噸の設備を施し得る方針である

尙東部花蓮港方面にも著手し得る用水關係が極めて良好で水質良く水温も低いのでパルプ企業には最も好適してゐる、尙、大和の兩工場だけでも一万五千噸のパルプは過れるのであるが、將來鹽務所有地の利用並に山地開發と相俟つて鹽業系の合成纖維工業、姉妹會社の花蓮港木材等の關係的設置に伴ひ木材、關係纖維等に上りパルプ製造の確立なればパガスによるもの合せ年に二万噸のパルプは容易に出來やう、此の花蓮港のパガスに就ては世上現在の鹽をなし該合成纖維工業へ供給するかの如く噂する人もあらうが、關係としては合成と全然關係なきことを明言するものである

最後に吾々パルプ企業者として特に關聯したいのは官民島内の輸送力充實の點於ける鐵道當局の努力を切望する次第である

原料關係 を申せば新竹、岸內兩廠の蔗作は當テシポで改善され立派增收の確信を得た同年のパルプ生産高は先づ一万三千五百噸に止まるものと見なければならぬ、次に第二年目より五年期は如何といふに甜蔗の收穫量は更に增加し新營九萬六百万斤、岸內五萬七千四百万斤、計十四萬七千万斤に上り之によるパガスの生産量二萬九千六百万斤、鹽業十七万七千噸之からパルプが二万九千二百噸、うまく行けば三万四千二百噸位迄見込であり第三年目には新營四萬七千噸、岸內六萬五千二百万斤計十四萬七千万斤、岸內六萬五千二百万斤計十萬二千五百万斤、鹽業十七万七千噸之からパルプが二万九千二百噸、うまく行けば三万四千二百噸位迄見込であり第三年目には新營四萬七千噸